

完成図書作成マニュアル

令和 6 年 度

碧 南 市 下 水 道 課

次に示すとおり、完了した工事情報を取りまとめた完成図書を作成・提出すること。

(背表紙)

令和〇年度

開発事業に伴う下水道整備工事

〇〇処理分区

完成図

施工者

株式会社
〇〇建設

発注者

(株) 〇〇不動産

(表紙)

令和 〇 年 度

〇 〇 処 理 分 区

開 発 事 業 に 伴 う 下 水 道 整 備 工 事

碧南市〇〇町地内(始め)

完 成 図

発注者 (株) 〇 〇 不 動 産

施工者 株式会社 〇〇建設

完 成 圖 書

- | | | | | |
|---|---|---|-----|-----------------|
| 1 | 工 | 事 | 概 | 要 |
| 2 | 箇 | 所 | | 図 |
| 3 | 主 | 要 | 材 | 料 一 覧 表 |
| 4 | マ | ン | ホ | ー ル 明 細 書 |
| 5 | マ | ン | ホ | ー ル 詳 細 図 |
| 6 | 取 | 付 | 管 | 詳 細 図 |
| 7 | 平 | 面 | 図・縦 | 断 図・取 付 管 設 置 図 |
| 8 | 取 | 付 | 管 | 設 置 全 景 写 真 |
| 9 | そ | の | | 他 |

1 工 事 概 要

工 事 名 令和 ○ 年度
○○ 処 理 分 区
開 発 事 業 に 伴 う 下 水 道 整 備 工 事

工 事 場 所 碧 南 市 ○ ○ 町 地 内 (始 め)

工 期 自 令 和 ○ 年 ○ 月 ○ 日
至 令 和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

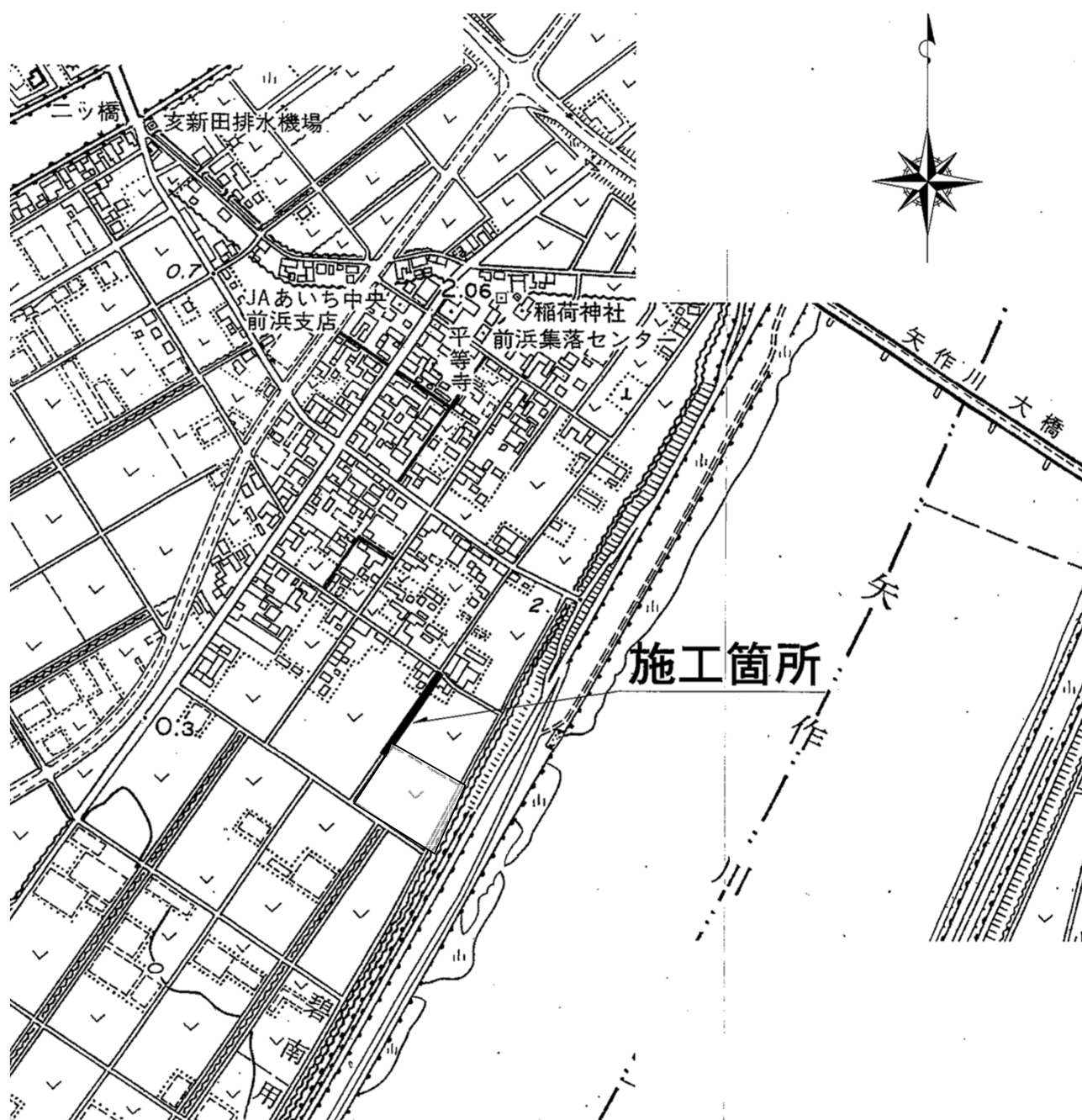
請 負 金 額 金 ○ ○ , ○ ○ ○ , ○ ○ ○ 円

発 注 者 (株) ○ ○ 不 動 産

施 工 者 株 式 会 社 ○ ○ 建 設

工 事 概 要	管施工延長	PRPΦ200	L=	○○○	m
	人孔設置工	組立0号	N=	○	箇所
		組立1号	N=	○	箇所
		組立A1号	N=	○	箇所
		小型レジン	N=	○	箇所
		小口径塩ビ	N=	○	箇所
	取付管設置工	VUΦ150	N=	○	箇所

2 箇 所 図



※ 施工区域を赤色に着色すること

3 主 要 材 料 一 覧 表

材 料 名	製 造 者 名	摘 要
リブ付硬質塩化ビニル管	○ ○ ○ ○ (株)	PRPΦ200
硬質塩化ビニル管	○ ○ ○ ○ (株)	VUΦ150
組立マンホール	○ ○ ○ ○ (株)	0号 ・ 1号 ・ A1号
小 型 レ ジ ン	○ ○ ○ ○ (株)	Φ300
小 口 径 塩 ビ 人 孔	○ ○ ○ ○ (株)	Φ300
人 孔 鉄 蓋	○ ○ ○ ○ (株)	T-14 ・ T-25

4 マンホール明細書

0号・1号・A1号組立マンホール明細書

[illegible]

5 マンホール詳細図

路 線 名	〇〇	M 番 号	MO-〇
M 種 別	〇号	足掛け金具の向きも記入する。	
既設人孔の場合は、(既設)と記入す			

既設の人孔に接続する場合も作成し、その工事の完成図書の数値をすべて記入すること

地盤高

流入人孔番号
管種・管径

管底高

左側を下流とする。

流出人孔番号
管種・管径

管底高

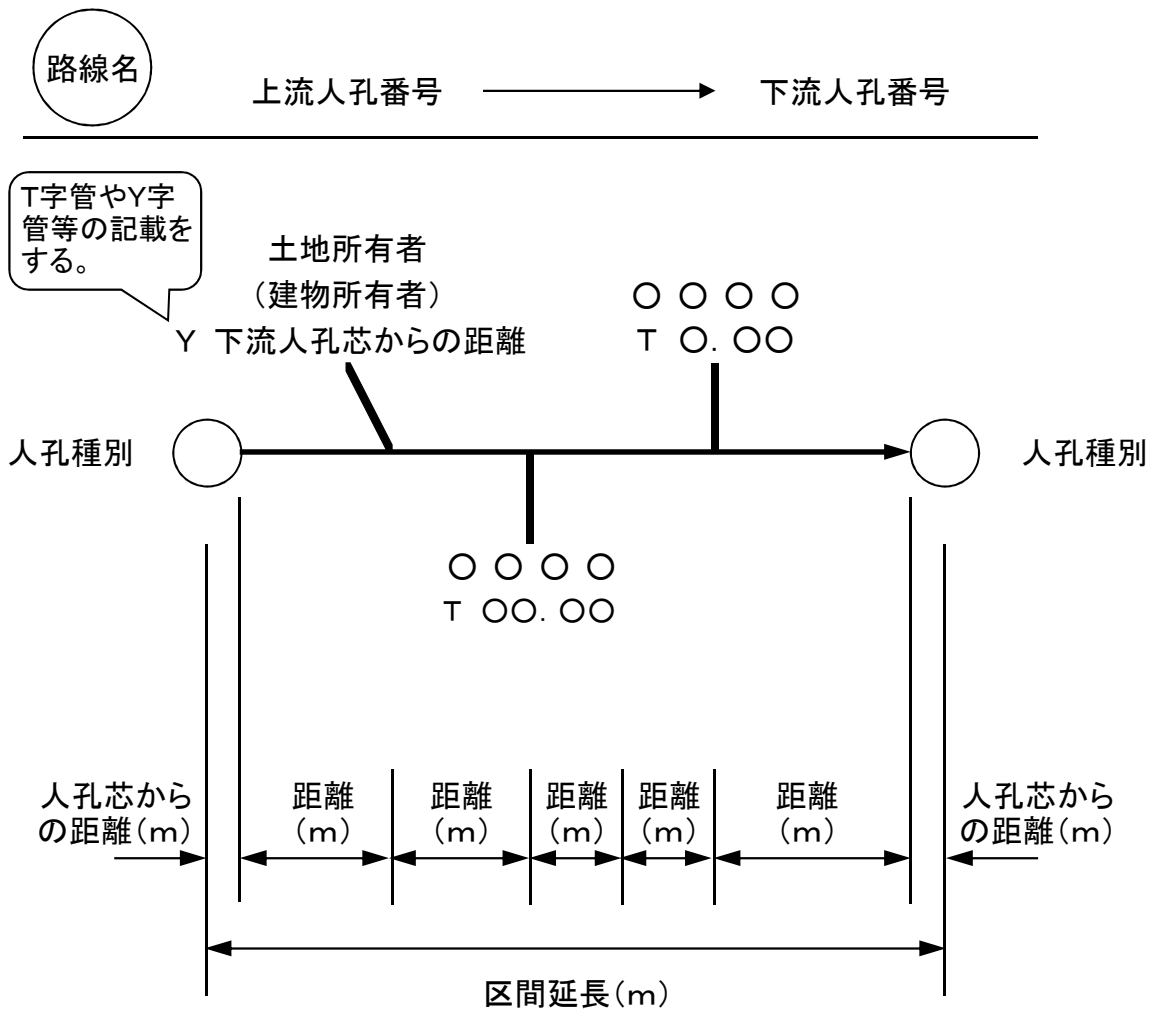
流入人孔番号
管種・管径

管底高

000

000

6 取付管詳細図



人 孔 種 別	Y号	O号	1号	2号	3号	特1号	
						流入側	流出側
人孔内径控除長	0.30	0.375	0.45	0.60	0.75	0.30	0.60

人 孔 種 別	小口径塩ビ		小型レジン(Φ300)	
	Φ200	Φ300	流入側	流出側
人孔内径控除長	0.10	0.15	0.245	0.225

7 平面図・縦断図・取付管設置図

8 取付管設置全景写真

部材一覧

○記載例

- ◆路線番号
- ◆マンホール番号
- ◆右岸・左岸
- ◆住所・名前
- ◆個人負担(個人負担の場合記入)
- ◆取付長
- ◆部材一覧表 VUφ150
 - ・90°(60°)枝付管(支管) 1ヶ
 - ・PE直管 ○○m
 - ・片受直管 ○○m
 - ・曲管(角度) ○ヶ
 - ・その他

土被り

- ◆土被り
 - ・H=○○○

全景

- ◆境界(等)からの距離
 - ・L=○○○m